

# 「希望」だより



〒284-0005

四街道市四街道 1-6-11 田中ビル 3F

TEL & FAX 043-421-6645

E-mail: kibou\_donguri@ninus.ocn.ne.jp

HP: <http://kibou-donguri.org>



## 謹賀新年



### 年頭のご挨拶

明けましておめでとうございます。

今年も NPO 法人希望（どんぐり工房・グループホームだんらん）は、利用者の皆様に「来てよかった」「居てよかった」「みんなと出会えてよかった」という居場所づくりに関係者一同全力で取り組んでまいりますので、皆様方のご支援・ご協力を宜しくお願い致します。

皆様方が、コロナウィルスに負けずに明るく楽しい毎日を送られますよう心よりお祈りいたしております。

理事長 中山潤一

### ～精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム～

四街道市における協議の開始は令和 5 年からの予定

厚生労働省においては、平成 29 年度より「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進・支援事業」を立ち上げ、都道府県等の取組に対して財政的な補助や技術的な支援等を行っています。

また、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築を推進する観点から、令和 2 年 3 月より、有識者や当事者等を構成員とした「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に係る検討会」を開催し、令和 3 年 3 月に報告書を取りまとめました。報告書では、同システムの構築においては、日常生活圏域を基本として、市町村などの基礎自治体を基盤と

して進めること等について盛り込まれ、今後この報告書を踏まえ、必要な諸制度の見直し等具体的な取組について検討し、その実現を図ることとされました。（厚生労働省 HP より）

基礎自治体となる四街道市では、「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム」について、令和 5 年度より四街道市自立支援協議会の生活部会の下部組織において協議が開始される予定です。「希望」の理事 1 名も、自立支援協議会の構成委員として名を受けており、生活部会に所属していることから、同地域包括ケアシステムに関する協議内容や進捗状況など、この紙面を通してお伝えして参りたいと思います。

# 地域活動支援センターどんぐり工房

## さつまいも掘り



## オータムフェスティバル

10月末に行われた旭ヶ丘オータムフェスティバルに、出店しました。当日は好天に恵まれ、地域の方々も多数ご来場。予想を大きく上回る売上げでした。

旭ヶ丘の皆様ありがとうございました。



## イベント販売



ちばユニバーサル農業フェスタ 2022 に出展しました。当日は雨が降る中、お買い上げくださった皆さま、ありがとうございました。

## クリスマス会



クリスマス会では、参加者全員で準備をしました。プレゼントもいただき、お腹も心もいっぱいになり、楽しいひと時を過ごす事が出来ました。

## 第27回障害者週間の集い 心の美術展



『奨励賞』受賞

一生懸命取り組んだ作品を出展しました。

「今日は珍しく家の近所にいなかったじゃないか、何処に行つてんだい」

夕飯を食べているところで母は訊ねてきた、人のことをほっぽいて平気である、農作業に追われそれどころではなかったのであろうけれど母は家にはいないのが普通であると私も考えていた。しばらくして近所の子供も同様であるのが判つてきた、ただだからと言つて近所の子と交流を持つということは子供の私では時間がかかった。一人で遊ぶことがまだ普通なことであつた。

「今日は近所の八百屋に行つてきた」

飯を食う時は話をしない、そう教えられていたが母親の質問に口をもぐもぐしながら答えた。

「へえ、それで何か買えそつなものでもあつたかい」私はご飯を食べるのを諦めて返事した。

「なにもないよ、果物は高いしね、五円じゃ手は出ないものだね」

「きゅうりの一本でも齧ればいいじゃないかい」

「一本では売つてなかつたよ、だいたい庭になつていないじゃないかい、八百屋でいちいち買うものかね」

「庭でなつているものとは味が違うかもしれないよ」

私は怪しんだ、親はどうも胡瓜で話をとめておきたいような気がしたからだ。果物の話を母親はいつこつに注意を向けなかった。

「三本で一五円だよ」

それなら金をくれといいたかつた。

「一本なら買えるじゃないか」

「ひと疋でしか売つていなかったけどね」

私は抗弁をしようとした。

「そこは店のものと掛け合うものだよ、一本で売つてくれと言えばいいじゃないか、子供相手なら売りそつなものだ」

「店のしきたりでもあるんじゃないのかね」

「それにしても一本五円もするもんかい、高いものだね、家の向こうの表通りにもう一軒八百屋があるよ、そつちには行つてみたかい」

「まだ行つてない、明日にでも見てこようかね」

「それじゃ今日は小遣いは使つていないのかい、それなら明日もう一枚五円玉を渡してやるよ、拾円もあれば何か買えるだろう」

「拾円ねえ、なにか買えるかね」

幼かつたころ拾円は高価であつた、ただしそれで何が買えたか、おやつで食べるキャラメルや少し高級なアイスが買えるだけでありとても果物までには及ばない、私共が高価なものは買うものではないことを示されただけである。まだおまけつきのグリコのキャラメルなど知らなかつた。

「八百屋にはどんな人がいたかい」

母親は話筋を変えた。

「どんな人つて言われても、まず店の女将つていう人かね、もう一人若い女の人が働いていたね、あとは客ばかりだつた、店の中は人でいっぱいになつてね、町中には人がたくさんいるもんだね」

「ふーん」

「母ちゃんくらいの人もいたよ」

私は気づいたことを並べ立てた、かのご婦人の背格好、歳はどのくらいか、数字に弱そうなこと、そんな文字は読めないと書いていたことなど。すると母は急にまじめな顔つきになった。

「名前は聞いたかい」

「誰も名前なんかで呼び合つてはいなかつたよ」

私はKさんという人をまだ知らなかつた。

「今日はここまでにしてご飯を食べ終えたら寝な」家の中には母親と私だけである、姉二人がいたけれどどめつたに顔を合わせる事が無い、年が離れていだから無理に私に合せて会話をするのが面倒らしい。姉たちは勉強に夢中で特に上の姉は夜更けになつてようやく家に帰つてきていた。仲間三人で集まつて好きな勉強に打ち込んでいた、私は六時過ぎには寝てしまつたから姉たちと一緒に飯を食つことさえ出来た。

或る夜珍しく姉たちを集めこんな話をした。

「お前たちは知つているだろうが」

姉たちに向かつていた姿勢を改め私の方へ向きなおり、

「寡婦と言つてね、子供を女の腕ひとつで育て上げた立派なご婦人さ、情けない話だけれど理由があつて尋常小学校へもまともに通つことができなくて漢字の読めない大人になつてしまつて、そりゃいくつかは知つているだろうけれど、いいかい、息子の話や漢字の話はするんじゃないよ、些細な話はするもんじゃない」

# どんぐり工房

のご紹介

精神に障がいのある方へ

お家から一歩外へ出ませんか？

どんぐり工房でゆったりとした時間を過ごしてみませんか…

様々なプログラムを用意しています。  
やってみたいことがあれば、ぜひご参加ください。

昼食作り

クッキー・パン等  
製造

手工芸品の製作

シール貼り

市役所・イベント  
販売

おしゃべり

書道

農園作業



これら以外にゲームをしたり（オセロ・トランプ・ジエンガ・ダイヤモンド等）  
絵を描いたり何もしないでゆったりと過ごすことも可能です。

どんぐり工房の活動時間および定員

開所日 月～金曜日  
（土・日・祝祭日お休み）

開所時間 午前9時30分～午後3時

一日の利用定員 15名

皆様の見学を心よりお待ちしております。

見学大歓迎

アクセス：四街道駅北口 徒歩1分

連絡先：四街道市四街道1-6-1 1田中ビル3F

TEL：043-421-6645